

# 広域的な連携や避難等に向けて課題や取組を関係機関で情報共有（菊池川流域）

- 関係機関の職員によるワークショップ形式の幹事会を開催。（H28.11.17）
- 「圏域全体で連携して災害に強い地域づくり」の目標に向けて、広域的な連携や避難等に関する課題や取組について意見交換を実施。

- 日 時：平成28年11月17日（木）
- 参加者：5市4町、熊本県、熊本地方気象台、菊池川河川事務所
- 目 的：各自治体の課題や先進的な取組の情報共有し、共通認識を得る

## 【5年間で達成すべき目標】

菊池川流域及び近隣自治体が相互に協力し「圏域全体で連携して災害に強い地域づくり」を目指す。

## ■ワークショップの実施状況



## ◆課題

- ・ **避難所が不足・遠い・内水で通れなくなる・高台にない。隣町の避難所が近い。**
- ・ 逃げない（住民の意識が低い、危険度が伝わる情報になっていない。）
- ・ 災害時に支援物資がとどかない・保管が難しい。各市町での対応に苦慮、人員不足

## ◆今後、必要な取組

- ・ **市町の枠を越えての避難、民間への協力依頼、住民の意識を高める啓発**
- ・ 分かりやすい情報、土砂災害、地震、水害など全ての情報が入った図の作成
- ・ **人、物、情報の連携が必要**

## <参加者の感想>

それぞれの地域で状況が全く違うため、各市町の取組を情報共有しそれぞれの自治体に合うやり方を導入することが重要である。そのためのこの幹事会は有意義であった。 など